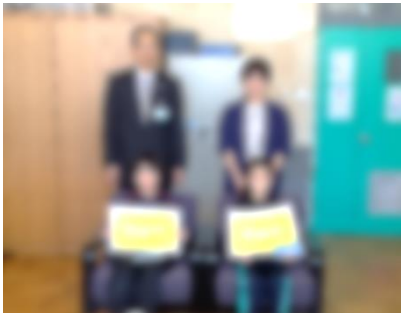


～2月から3月の西春別小学校～

牛乳パッケージコンクール表彰式 2月27日(水)



別海町の子ども達が、朝食の重要性や栄養バランスのとれた食事など望ましい食習慣を身につけることをねらいに、町教委が主

催しているコンテストです。本校では2名が入賞しました。伊藤教育長様が来校され、賞状と記念品が手渡されました。入賞した二人のレシピは、実際に町内の小中学校の給食メニューに採用され、27日と3月11日に提供されました。

入賞者

3年 ○○ ○○ さん 「エビ野さいカレー」

4年 ○○ ○○ さん 「かつおぶしバターラーメン」

避難訓練 3月7日(木)

家庭科室から出火したと想定して、避難訓練を実施しました。冬季間の避難なので、上着を着て避難するようにしましたが、ハンカチを忘れた子ども達が多く、口を押さえる行動ができていなかったのが残念でした。ご家庭でもハンカチ・ちり紙を持っているかの確認をお願いします。



今年度最後の参観日 3月8日(金)



学校閉鎖のため、一週間延期して実施しました。低学年は「一年間の成長」と題して、今年度の中でがんばったことなど、堂々と発表していました。お忙しい

中、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

お願い 毎年4月中旬からグラウンドに「こいのぼり」をあげていますが、使用しないこいのぼりをお持ちの方がいらっしゃいましたら、学校にご寄付いただくと助かります。(ご連絡は77-2364教頭まで)

平成30年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果について

本校児童の体力や運動習慣、生活の様子等を把握・分析し、学校における体力・健康等における指導の改善に役立てることを目的に、7月に実施しました「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が届きましたので、特徴的な側面をご報告いたします。対象学年は5年生で、実技に関する調査と運動習慣や生活習慣に関する質問紙調査の2つから構成されています。

実技に関する調査から

「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20Mシャトルラン」「50M走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」の8項目の調査が行われました。

本校の児童の特徴として、男女ともに、「反復横とび」(敏捷性)、「立ち幅跳び」(筋パワー、跳躍能力)、「ソフトボール投げ」(巧緻性、投球能力)については、良い数値が出て全国よりも高い結果となりました。反対に数値が伸びなかった、「長座体前屈」(柔軟性)で、男女ともに低い値となってしまいました。総合的な体力では、全国と比較すると同等かそれ以上ということがいえる結果でした。

質問紙調査から

運動やスポーツをすることが好きかどうかという質問では、「好き」「やや好き」のどちらかで5年生は答えています。体育の授業は楽しさについても、ほとんどの児童が「楽しい」という結果でした。また、「運動やスポーツは大切なものですか」という質問に対しても「大切」と答える児童がほとんどでしたが、反面、「体力や運動能力に自信があるか」という質問には、自信があると答えたのは半分でした。睡眠時間については、ほとんどの児童が、8時間以上と答えていました。テレビ、ゲーム機、パソコン等のメディアを見ているかの質問には、男女に差が出て男子では1日2時間以上と答える児童が多かったのに対し、女子では1日2時間未満と答える児童が多かったようです。過度なメディアへの依存は、健康面や基本的な生活習慣面から改善していく必要があると考えられます。今回の結果をもとに、保護者や地域の皆様にも協力いただきながら、子どもたちの健康な成長に取り組んでいきます。